

(2) 罹病スッポンからの細菌分離

目的

病原細菌の分離と同定

材料及び方法

エサ台にのぼり動きのにぶくなつた罹病と思われるスッポンの肝臓・脾臓及びその他より細菌分離を行つた。

分離培地は普通寒天培地と栄研のドリガル改良B TB 寒天培地・DHL 寒天培地・マッコンキー寒天培地を用い、25°C 48時間培養した。

菌の同定は北里研究所研究部細菌室に依頼した。

結果及び考察

5~10月までに14個体から100余株の菌を得た。同定の結果は表3に示した。

表3 罹病スッポンからの菌の分離

表中の記号は菌の分離場所を示す。Li: 肝臓, S: 脾臓, B: 血液, Lu: 肺, G: 咽喉

解剖番 No	分離菌名	分離場所						分離月 日	備 考
		Li	S	B	Lu	G			
6	<i>Streptococcus</i>							5/15	外部異状なし、肝臓に附着
7	<i>Streptococcus</i>	Li	Li	Li	B			6/3	甲羅にムコール様のカビ、肝臓白っぽい、その他以上なし
10	<i>Streptococcus</i>							7/7	外部異状なし、肝臓移着
11	<i>Streptococcus</i>				Lv	Lv		7/22	肝臓表面と腸間膜に菌株附着
12	<i>Streptococcus</i>	Li						8/13	肺にガス充満、内部に病巣あり
13	<i>Streptococcus</i>	Li						8/13	肝臓肥大ナス色、脂肪黄色
14	<i>Streptococcus</i>	Li			G	Li		8/25	甲羅にムコール様のカビ
15					G	Li		8/25	"
16						Li		9/29	"
17						Li		9/29	"
18	<i>Streptococcus</i>	G			Li	G	G	10/25	"

表3からわかるように、8月下旬からの大量の死時に採集したスッポンから分離した細菌とそれ以前の単発的に死したスッポンから分離した細菌は明らかに違う。それともう一つ言えることは、甲羅にムコール様のカビのある時は *Pseudomonas* SP. か *Aeromonas hydrophila* が必ずみられることである。SNI ESZKO (1964), COWAN (1974), SEDLÁK (1971) らは、*Aeromonas*, *Pseudomonas*, *Citrobacter* は条件病原性だとしているので、どちらが一次感染か不明であるが、ムコール様のカビと複合的に出現するものと思われる。今回はカビの分離同定は行っていないが、池水からの細菌は *A. hydrophila* と *C. freundii* が分離された。

また肝臓・脾臍よりしばしばグラム陽性球菌が分離された。しかしグラム陽性球菌検出個体の場合、外・内部所見に共通性がなく、その時期の池水及びエサからもグラム陽性菌は分離できず、混入細菌ではないかと思われるが、その時期の健康なスッポンからはグラム陽性球菌は分離されなかったので、もう一度感染経路を検討する必要があろう。

これらの菌については後に述べたように、病原性試験を行ったが、発病性が弱かったので、病気の発生条件を検討する必要があろう。本研究の結果では *A. hydrophila* がもともと疑わしいが、それと複合して現われるムコール様カビの分離・同定・毒性試験も行う必要があろう。

検査項目	調査月	検査方法	調査箇所	細菌
死後一週間	8月	CITROBACTER	死後一週間	+
死後二週間	9月	CITROBACTER	死後二週間	-
死後三週間	9月	CITROBACTER	死後三週間	+
死後四週間	9月	CITROBACTER	死後四週間	+
死後五週間	9月	CITROBACTER	死後五週間	+
死後六週間	9月	CITROBACTER	死後六週間	-
死後七週間	9月	CITROBACTER	死後七週間	-
死後八週間	9月	CITROBACTER	死後八週間	-
死後九週間	9月	CITROBACTER	死後九週間	-

調査項目が細菌検出率である。調査月・検査方法によって調査箇所が異なり、死後一週間は死後一週間の死後細菌検出率と死後二週間の死後細菌検出率との比較として「死後一週間」、「死後二週間」、「死後三週間」、「死後四週間」、「死後五週間」、「死後六週間」、「死後七週間」、「死後八週間」、「死後九週間」の細菌検出率である。死後一週間は死後細菌検出率と死後二週間の死後細菌検出率との比較として「死後一週間」、「死後二週間」の細菌検出率である。死後一週間は死後細菌検出率と死後二週間の死後細菌検出率との比較として「死後一週間」、「死後二週間」の細菌検出率である。死後一週間は死後細菌検出率と死後二週間の死後細菌検出率との比較として「死後一週間」、「死後二週間」の細菌検出率である。死後一週間は死後細菌検出率と死後二週間の死後細菌検出率との比較として「死後一週間」、「死後二週間」の細菌検出率である。死後一週間は死後細菌検出率と死後二週間の死後細菌検出率との比較として「死後一週間」、「死後二週間」の細菌検出率である。死後一週間は死後細菌検出率と死後二週間の死後細菌検出率との比較として「死後一週間」、「死後二週間」の細菌検出率である。死後一週間は死後細菌検出率と死後二週間の死後細菌検出率との比較として「死後一週間」、「死後二週間」の細菌検出率である。